

第九章 子会社・傍系会社

子会社、傍系会社については、昭和二十五年までの経過を第二部第七章に記したので、ここでは、その後を一括して記することとする。

一 丸善製品販売株式会社

さきに第二部一、二七二頁で紹介したように、丸善貿易は、昭和二十六年二月丸善商社を合併して、丸善製品販売株式会社と改称した。その業務内容を摘記すると次のようである。主要取扱商品は、日暮里工場の製品（アテナインキ・サインペン・万年筆）、丸善精機工業の製品の一部（番号器・ステープラー等）、オリオン商標文具品（ペン先・カーボン紙・チョーク・紙工品等）であり、それらの商品を全国の有力な問屋、小売店に卸販売している。そのため、各地区にこれらの商品の販売に主力を置く特約店を会員とする丸善会と、小売店を会員とするアテナ会を結成していた。当時本社は東京都中央区日本橋江戸橋二の三であったが、実際の業務は神田の淡路町ビルで営んでいた。その他に名古屋出張所（名古屋支店隣）、大阪営業所（大阪支店隣）、福岡出張所（福岡市下東町）、札幌出張所（札幌支店隣）を置いた（福岡・札幌両出張所は昭和三十三年出張員詰所となる）。

資本金は昭和二十六年二五〇万円であったが、昭和三十八年一千万円、昭和四十二年に一、五〇〇万円に増資し

た。昭和二十六年合併時、会長司忠、社長小柳津宗吾であったが、昭和三十三年小柳津宗吾退任に伴い、司忠が会長を退任して社長に就任した。社員は丸善株式会社からの出向の社員で構成された。

そして昭和四十三年八月に至って、親会社である丸善株式会社に株式会社丸善洋物卸店と共に合併された。

二 株式会社丸善洋物卸店

この子会社についても丸善製品販売同様第二部で紹介してあるので、ここではそれ以後の経過を述べる。主要取扱商品はメリヤス製品、布帛製品、帽子、レインコート、毛布、化粧品、丸善株式会社輸入の洋品・雑貨で、これらの商品を東京都内をはじめとして北海道から九州まで全国の百貨店・洋品小売店に卸販売していた。資本金は昭和二十七年に六〇〇万円、昭和二十九年には一、二〇〇万円、昭和三十三年一、八〇〇万円、昭和三十七年二、七〇〇万円に増資した。社長は昭和二十八年八田庄治の退任により、会長司忠、社長伊藤四良がそれぞれ就任、昭和三十四年伊藤四良退任後、昭和三十六年金原金二が社長に就任するまで社長はおかれなかった。また社員は丸善株式会社からの出向社員で構成され、昭和四十三年八月、前記丸善製品販売株式会社と共に親会社である丸善株式会社へ合併された。

三 丸善精機工業株式会社

丸善精機工業の製品は、タイムレコーダー、ベルトタイマー、電気時計類、番号器、紙綴器類、パンチ類、ブックエンド等である。そのうちタイムレコーダー、ベルトタイマー、電気時計類は丸善株式会社の子会社で販売されており、番号器、紙綴器、パンチ類、ブックエンドは、丸善製品販売株式会社から小売店へ卸販売されていた。資本金は昭和二十八年十二月に二〇〇万円、昭和二十九年八月に四〇〇万円、昭和三十一年八月一千万円、昭和三十四年十二月一、五〇〇万円に増資された。社長は昭和二十一年以降司 忠が引続きその任に当たっている。

四 株式会社佐藤金庫鋼鉄工業所

昭和二十八年十一月二十四日の臨時取締役会において、丸善株式会社は大阪市港区東田中町一丁目所在の佐藤金庫鋼鉄工業所に三〇〇万円を出資し、司 忠、山本治郎、上田憲治、西土春次を取締役に、井野礼二、山浦邦太郎を監査役に就任させて、その経営に参加することを決議した。この会社は大正四年創立、金庫を主に製造していたが、丸善株式会社が経営に参加した頃は、金庫、ファイリングキャビネット、保管庫、書架、耐火キャビネット等事務用スチール製品が主な製品であった。これらを当社の本支店を通じて販売することになった。

資本金は昭和二十八年十二月に五〇〇万円、昭和三十三年十二月に一千万円に増資した。

五 株式会社第一鋼鉄工業所

第一鋼鉄工業所は、昭和十四年竹中音一郎が東京都日本橋区江戸橋一丁目に創立、鉄製家具類の製造を行っていた。当社とは若干の取引があったが、戦後スチール製事務用品の需要が次第に増加する傾向にあったので、当社は昭和三十五年十二月、同工業所が神奈川県大和市深見に相模工場を新設する際に一、五〇〇万円を融資し、当社の永井弥惣兵衛を取締役として出向させた。更に昭和三十七年五月には、竹中音一郎所有の株式二〇万株を譲受けてその経営に参加、当社から司 忠が会長として、井野礼二、吉田秀雄が取締役、茂田井秀行が監査役として各々就任した。主要製品はファイリングキャビネット、書庫、ロッカー、書架、書棚、物品棚、カード箱等、スチール製事務用品である。資本金は、当社が経営に参加した昭和三十七年は七五〇万円であったが、昭和三十七年三月に二千万円に増資し、昭和四十三年十二月二十一日当社の傍系会社丸善化工を吸収合併して、二、二五〇万円となった。

六 株式会社丸新縫製加工所

昭和二十六年九月当社が出資して、東京都千代田区神田淡路町二の五に設立したのが株式会社丸新縫製加工所である。業務は当社のレインコート、合・冬外套及洋服類の仕立加工を行っている。当社からは社長に司 忠、監査役に飯泉新吾がそれぞれ就任した。資本金は創立時二〇万円であったが、昭和二十七年五〇万円、昭和二十八年一〇〇万円に増資した。